

タイトル	平成 28 年度 推薦入試 (保健学科 小論文Ⅱ)
評価の ポイント	<p data-bbox="288 412 491 450">1 解答例：</p> <p data-bbox="288 495 432 533">1 - 1</p> <p data-bbox="288 539 341 577">問 1</p> <p data-bbox="288 584 1449 663">「山村」「過疎地域」では、どこでも、人口流出や少子高齢化が続き、生活がどんどん不便になっている。(48 字)</p> <p data-bbox="288 752 432 790">1 - 2</p> <p data-bbox="288 797 341 835">問 2</p> <p data-bbox="373 842 1449 1055">過疎とは、地域社会の機能が低下し、住民が一定の生活水準を維持することが困難な状態と定義されるが、上野村では、平成 20 年度からの 5 年間で 12 名の転入者があり、移住者が人口の 14%を占め、一家族の子ども数も 3 名ほどで、地域社会の機能が低下したり、生活水準の維持が困難な状態にあるとは考えられないため。(146 字)</p> <p data-bbox="288 1144 491 1182">2 解答例：</p> <p data-bbox="288 1227 432 1265">2 - 1</p> <p data-bbox="288 1272 1449 1350">問 1 わざと無理難題を作り上げ、それを親にぶつけ、その反応に手がかりを見出そうともがく (40 字)</p> <p data-bbox="288 1395 432 1433">2 - 2</p> <p data-bbox="288 1440 1449 1697">問 2 子どもの自立の過程には、親と子の双方にある自立を推進する力と抑制する力の拮抗度合いが最もピークに達する思春期に、親が鏡となって子どもの姿を映し出すこと、そして、それに子どもが気づくことが必要である。親が子どもの鏡となり、子どもがそれに気づくためにも、親と子は自分の葛藤を表せるだけの親子の信頼関係が必要であり、このような信頼関係には同じ経験を共にした家族としての時間の積み重ねが必要なのだと考える。</p> <p data-bbox="1326 1704 1433 1742">(199 字)</p>